

①研究課題名	急性骨髄性白血病の予後と WT-1mRNA 発現量の推移
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2011年8月1日から2020年3月31日までの間に、急性骨髄性白血病と診断された患者さんが対象です。
③概要	WT-1mRNA は急性骨髄性白血病で高くなるバイオマーカーの一つです。WT-1mRNA 発現量によって、病型や治療経過に違いがあるのか検討、予後や重症度の予測に応用可能か調べます。
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	WT-1mRNA 発現量による急性骨髄性白血病の治療経過の違いを検証します。この検査の重要性が明らかになれば、治療方針の決定に有用なマーカーとなります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2024 年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療・移植内容）、血液検査結果、生理機能検査結果、画像診断の結果など。
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 高密度無菌治療部 布施香子、増子正義 長岡赤十字病院 血液内科 古川達雄 新潟県立中央病院 血液内科 桃井明仁 済生会新潟病院 血液内科 北嶋俊樹 新潟南病院 血液内科 笠見卓哉
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 血液内科 柴崎康彦
⑪お問い合わせ先	所属：長岡赤十字病院 血液内科 氏名：古川 達雄 Tel：0258-28-3600 Fax：0258-28-9000